

平成25年行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	DNA型鑑定の実施		担当部局庁	刑事局			作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成4年度～		担当課室	犯罪鑑識官			犯罪鑑識官 上野 正史		
会計区分	一般会計		政策・施策名	別添参照					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第4号 警察法施行令第2条第4号		関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	極めて高い精度で個人を識別できるDNA型鑑定は、被疑者を特定し、犯行を立証する有力な客観的証拠となるものであり、犯罪捜査において不可欠な捜査手法となっているところ、近年における裁判員制度の導入、重要凶悪事件の公訴時効の廃止・延長といった刑事司法制度の大きな変革により、従来にも増して客観性の高い科学的証拠の収集・確保が重要となっていることを踏まえ、今後とも、重要犯罪、重要窃盗犯のみならず、あらゆる犯罪の捜査において、その積極的な活用を図り、より客観的証拠に依拠した犯罪捜査の科学化を推進する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	刑事司法においては、客観的証拠が一層重視され、特にDNA型鑑定は、刑事裁判において高い証拠価値を認められている中、犯罪捜査における極めて高い有用性から、その鑑定需要は増加の一途をたどっている。そこで、今後とも、増加する鑑定需要に適切に対応して鑑定結果を犯罪捜査に迅速・的確に反映させるとともに、DNA型鑑定の証拠価値を損なうことのないよう、その信頼性や精度を確保するため、鑑定基盤の更なる整備強化を図るものである。								
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	1,846	2,052	2,181	2,094	2,502		
		繰越し等	0	0	809	0			
		計	643	0	728	728			
	執行額	2,489	2,052	2,262	2,822	2,502			
	執行率(%)	2,398	1,908	2,262					
96%	93%	100%							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年	23年	24年	目標値 (年)	
	(成果目標) DNA型鑑定の活用による科学捜査の推進 (参考指標) DNA型データベースの活用件数(事件数)			成果実績	件	3,638	4,942	6,201	-
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年	23年	24年	25年活動見込	
	DNA型鑑定試料数			活動実績 (当初見込み)	試料	177,598	197,009 (-)	241,069 (-)	(-)
単位当たりコスト	9,383円(2,262百万円 / 241,069試料)			算出根拠	DNA型鑑定資料1件当たり執行額				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	物品購入費等	2,094	2,502	要求額のうち、「新しい日本のための優先課題推進枠」2,502百万円					
	計	2,094	2,502						

事業所管部局による点検														
	項目		評価	評価に関する説明										
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			刑事司法においては、客観的証拠が一層重視され、特にDNA型鑑定は、刑事裁判において高い証拠価値を認められている中、犯罪捜査における極めて高い有用性から、その鑑定需要は増加の一途をたどっている。										
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。													
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			本経費については、都道府県警察に予算配分し、DNA型鑑定に必要な経費として支出しており、都道府県警察から執行状況の報告を受けている。 また、都道府県警察においては、過去の調達実績の反映や、より競争性を高める調達方法への見直しなどを行った上で、複数応札者の確保に努めつつ、一般競争入札により調達を行っている。 ただ、都道府県警察ごとの調達となっており、コスト面での課題がある。										
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。													
	受益者との負担関係は妥当であるか。													
	単位当たりコストの水準は妥当か。													
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-											
事業の有効性	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			本経費は、対象事件の発生の多寡等によって所要額が左右されるものであるが、DNA型データベースの拡充及びその更なる積極的活用により、被疑者の迅速な特定や余罪の割出しに大きな効果を発揮している。										
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-											
重複排除	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)										
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。													
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。													
点検結果	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		事業番号	類似事業名	所管府省・部局名						
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名											
<p>1 支出先・使途の把握水準・状況 都道府県警察に予算配分している経費については、都道府県警察から執行状況の報告を受けているので、支出先・使途については把握している。</p> <p>2 見直しの余地 本経費は、対象事件の発生の多寡等によって所要額が左右されるものであるが、DNA型鑑定の重要性や犯罪情勢を勘案し、適正な予算積算に努めているところであり、今後も引き続き実施する。 契約に際しては、都道府県警察において、今後も過去の調達実績の反映や、より競争性を高める調達方法への見直しを図るなどした上で一般競争入札を実施することとしているが、都道府県警察ごとの調達に関し、コスト削減という観点から見直す余地がないかや、現在指定されている試薬以外の試薬の使用も認めることができないかについて、引き続き検討を進める。</p>														
外部有識者の所見														
外部有識者の点検対象外														
行政事業レビュー推進チームの所見														
事業内容の改善	現在の各府県(警視庁及び関東管区各県警察を除く)ごとの検査試薬の調達方法について、全国の一定地域ごとにまとめて契約若しくは中央調達を行うなど調達方法の見直しをはかること。 また、指定試薬以外の使用を承認させて競争性を高めるなど、更なるコスト縮減方策を引き続き検討すること。													
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況														
執行等改善	平成24年度は各都道府県警察ごとに検査試薬を調達していたところ、コスト縮減方策として警視庁及び関東管区各県警察分の検査試薬を警察庁において一括調達契約(中央調達)を試験的に行ったが、期待されるような成果は得られなかった。平成25年度においては、コスト縮減方策について更なる検討を進め、平成26年度予算の執行において、コスト縮減の効果が現れるよう取り組んでいく。													
備考														
<p>実施年:平成24年度 シート番号・事業名:50番・DNA型鑑定の実施 公開プロセスの結果:一部改善 取りまとめコメント:現在の都道府県警察ごとの検査試薬の調達について、全国の一定地域ごとにまとめて契約するよう見直すなど、コスト削減方策を検討すべき</p>														
関連する過去のレビューシートの事業番号														
	平成22年	当初17-2、補正11-1	平成23年	65	平成24年	50								

警察庁
2,262百万円

〔都道府県警察にDNA型鑑定に要する予算を配分〕



【予算配分】

A.都道府県警察

大阪府警察
303百万円

都道府県警察
(46機関)
1,959百万円

〔DNA型鑑定に必要な物品の購入及び資機材の修繕を執行〕



<物品購入等>

【一般競争入札・随意契約(少額)】

B.民間会社(18者)
303百万円

〔物品等の納入及び役務を提供〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.大阪府警察			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
予算配賦	DNA型鑑定に要する経費	303			
計		303	計		0
B.(株)アズバイオ			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入	AmpFLSTR Identifiler Kit ほかの購入	292			
計		292	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪府警察	予算配賦	303		
2	愛知県警察	予算配賦	116		
3	福岡県警察	予算配賦	105		
4	埼玉県警察	予算配賦	105		
5	神奈川県警察	予算配賦	88		
6	兵庫県警察	予算配賦	86		
7	警視庁	予算配賦	81		
8	茨城県警察	予算配賦	68		
9	千葉県警察	予算配賦	64		
10	京都府警察	予算配賦	56		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アズバイオ		292		
(内訳)		AmpFLSTR Identifier Kit ほかの購入	261	3	
		FTAカードKitほかの購入	11	随意契約	
		AmpFLSTR Yfiler Kit ほかの購入	7	3	
		JAPAN OMNISWAB Kit ほかの購入	4	3	
		AmpFLSTR Yfiler Kit ほかの購入	4	3	
2	(株)早川衡器		5		
(内訳)		アミコンウルトラ-4 10K ほかの購入	2	4	
		クリーニングシート ほかの購入	2	4	
		マイクロピペット用チップ ほかの購入	1	4	
3	アクセスコンピュータシステム(株)		1		
(内訳)		ドラムカートリッジ ほかの購入	1	随意契約	
4	八洲薬品(株)		1		
(内訳)		ファデバス フォレンジックCR ほかの購入	1	3	
5	ダイトク商事		1		
(内訳)		ドラムカートリッジ ほかの購入	0.4	4	
6	(株)関薬	アフーマジェン ほかの購入	0.6	随意契約	
7	(有)フタバジム	クリヤーケース ほかの購入	0.6	随意契約	
8	中倉産業(株)	改ざん防止ラベルの購入	0.4	随意契約	
9	(株)アダチ	生物顕微鏡修理	0.3	随意契約	
10	(株)ユニコム	RSID - Saliva ほかの購入	0.2	随意契約	

政策・施策名

